

藤市立塚越小学校における新型コロナウイルス感染症予防対策

～塚越小学校の児童が安心して学校生活を送るために～

令和
3年度

登校前

保護者が児童の検温・健康観察を行う

症状なし

- 健康観察カードへの記録
- ハンカチ・ティッシュの用意
- 水筒の用意
- マスク(予備を必ずランドセルに入れておく)
- ビニール袋(数枚)
 - ・鼻をかんだティッシュや使用後のマスクを入れるため
 - ・マスクを外した時に保管するため



学校へ登校する

- *登校時はマスクを着用
- *通学班では1列に並んで歩き、おしゃべりはしない
- *校門や昇降口等での密集が起こらないようにする

登校時間 8:00～8:15

症状あり

- 37.5度以上の発熱がある
- 咳がでる
- だるい
- のどが痛い
- 息苦しさがある
- 同居家族の健康状態も含む

学校を休む

健康観察カードの「症状あり」の項目にチェックがついたときは学校を休み、家庭で様子を見てください。(同居家族の健康状態も含みます。)発熱等の症状がある時は医療機関を受診してください。
⇒「出席停止」の扱いになります。

登校時

- マスク着用→忘れてしまい、予備のマスクがない場合は担任に申し出る
- 登校後は速やかに石けんを使い、手を洗う
- 「健康観察カード」を提出する →忘れてしまった場合は、家庭科室で検温・健康観察を行う
- 学校で具合が悪くなった場合は、早めに申し出る→発熱や風邪症状などがある場合は、お迎えにより早退をする

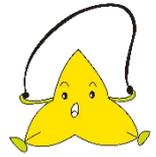
授業

- 換気をする
 - *教室の天窓と廊下の窓は常時開放する
 - *空気の流れができるように、対角線の窓と教室の出入口を常時開放する(こぶし2個程度)
 - *空気清浄機作動時は、窓やドアを閉める。
 - *天候等の関係で常時開けられないときは、休み時間には窓と入口を広く開け、換気を行う。
- 基本的にマスクを着用する ただし、次の場合は外してもよい
 - 熱中症の危険があるとき・十分な身体的距離が保たれているとき・体育やクラブ活動など運動をするとき(十分な身体的距離がとれない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症のリスクがない場合にはマスクを着用)
- 児童同士の近距離での活動が入る授業では、飛沫防止ガードを使用する
- 「3つの密(密集、密接、密閉)」、「大声」を避ける
- 体育やクラブ活動など運動の場面においては、相手との身体的距離を確保し、近接する場面の頻度が多くならないように、移動エリアの制限や活動時間を工夫する
- 共用の教材・教具・情報機器などを使用する前後には石けんでの手洗いをする



休み時間

- 教室の窓と入口を全部開け、空気の入れ替えを行う
- 冷水機は各自のコップで使用する
- トイレ、流しの場所が密にならないように、間隔をあけて並ぶ
- 廊下や階段においての接触を避けるため、校舎内の通行方法(右側通行、走らない等)を守る
- お互いの体が接触しないよう距離をとって、落ち着いて生活する
- 休み時間の活動中もマスクを着用して過ごす
- 校庭でのボールや遊具を使った遊びは行ってよいが、密にならないように気を付ける
- 図書室利用の前後には手洗いをし、室内が密にならないように気を付ける
- 図書室内は無言とする
- 外から教室に入るときは石けんでの手洗いをし



給食

- 飛沫防止ガードの設置と机拭き、石けん・ハンドソープを使った手洗いをし
- マスクは「いただきます」まで着用 食べるときにマスクをビニール袋等に入れて保管し、「ごちそうさま」の後、マスクを着用する
- 給食当番は担任から身支度と体調のチェックを受ける
- 配食は使い捨て手袋を着用する
- 配食中は無言で待つ
- 会話はせず、前を向いて食事をする
- 片付けは各自で行い、石けんでの手洗いをし



昼休み

- 歯みがきを行う場合は、流し場が密にならないようにする
- 口を閉じてブラッシングを行い、すすぎは少ない水で1~2回にとどめる
- お互いの体が接触しないよう距離をとって、落ち着いて生活する
- 教室へ入る前に手洗いをし



清掃

- 無言清掃
- マスク着用
- 校舎内はすべて通常清掃を実施
- 清掃終了後、石けんを使い、手洗いをし



下校

- 昇降口が密にならないように下校する
- 速やかに下校し、寄り道をしない

※感染症への抵抗力を高めるため、「十分な睡眠」、「適度な運動」、「バランスのとれた食事」を心がけましょう。
※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、対策を変更する場合がございます。